

トネ コードレスシヤーランナー

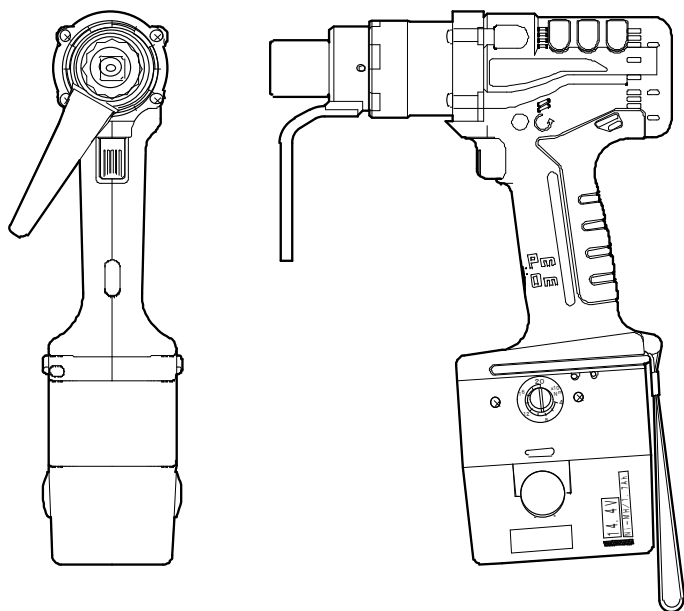
取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL NO. 0409

要保管

型 式

SR-B20A



⚠ 警 告

- 製品をご使用される前に、取扱説明書をお読み頂き、理解して頂いた上でご使用ください。
- 取扱説明書は、いつでも読めるように所定の場所に大切に保管してください。
- 取扱説明書の表紙に記載している型式は、日本国内での使用に限定させていただきますので、ご了承ください。**日本国外での使用につきましては、保証できません。**

The models described on the front page of the instruction manual can only be used in Japan. **Cannot be used outside Japan.**

前田金属工業株式会社

はじめに

この度は、
トネ『コードレスシャワーランナー』をお買い上げ頂き、誠に有り難うございます。

まず、下記事項をご確認ください。

- 輸送途中で破損した箇所がないか。
- ネジ・ボルトに脱落・緩みがないか。
- 注文通りのものが入荷しているか。
- 付属品は、全部揃っているか(P. 22参照)。

万一、不具合な点がございましたら、お買い求めの販売店あるいは弊社営業所までお申し付けください。

- 製品をご使用される前に、取扱説明書をお読みください。人身事故や故障を未然に防ぐ為にも、取扱説明書の内容を理解して頂いた上で、ご使用ください。また、ご使用方法を熟知された方、すでにお読みになった方も、ご使用前には今一度取扱説明書をお読みください。
- お読みになられた後は、いつでも読めるようにケース内に保管してください。
- 万一、取扱説明書および警告ラベルを紛失・破損された場合、または保管用として別途取扱説明書をご入用の方は弊社営業所までお申し付けください。

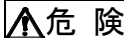

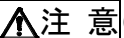
お買い求めの製品や取扱説明書の内容について不明な点がございましたら、お買い求めの販売店、あるいは弊社営業所までお問い合わせください。

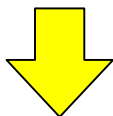
本社・大阪営業所 TEL:06-6976-6241
東京営業所 TEL:03-3446-3231

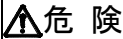

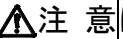
- 取扱説明書に記載しております内容は、日本国内においてのみ有効とさせていただきます。ご了承ください。
日本国外での使用に付きましては、保証できません。


The models described on the front page of the instruction manual can only be used in Japan. **Cannot be used outside Japan.**

注意文について


注意文の  危険  警告  注意 の意味について




■ご使用上の注意事項は、 危険  警告  注意 に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 危険

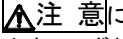
誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容のご注意。

 警告


誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が予想される内容のご注意。

尚、 注意 に区分した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので守ってください。

目 次

1. 用 途	4
2.  ご使用上の注意事項	4
3. 充電方法	12
4. ソケットおよび反カレバーの取り付け・取り外し方法	1
<u>4</u>	
5. 操作方法	16
6. 締付トルクの設定	18
7. ランプ表示による締付判定および異常検出について	20
8. 保守点検	21
9. 仕 様	22
10. 特 長	23
11. アフターサービスについて	23



印の項目は重要事項ですので熟読ください。

1. 用 途

■六角ボルトなどのトルクコントロール制御締結を目的とするコードレスレンチです。

2. ご使用上の注意事項

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐ為に、次に述べる「注意事項」を守ってください。
- ご使用される前に、この「注意事項」をお読み頂き、指示に従って正しくご使用ください。

警 告

- 作業中、反力レバーに手や指および足などを近づけないでください。

○レバー(反力受け)にて反力を取ります。挟まれると大変危険ですので、手や指、および足などが近くにないか確認して作業してください。

けがの原因になります。

-
- 感電に注意してください。

○雨中や雪中、および濡れた環境、湿った環境で、レンチおよび充電器は使用しないでください。

○ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

感電・発煙・火災・漏電の原因になります。

警告

●高所作業での落下事故に注意してください。

- 安全帯を着用してください。
 - 落下物による危険防止のため、作業場には、ネットや帆布などによる安全策を講じてください。
 - 作業場の下に、人がいないことを確認し作業してください。
 - 心身の疲れを感じた場合は、作業をしないでください。
転落・落下事故の原因になります。
-

●ご使用になる前に、下記の点検を行ってください。

- レンチ本体／ソケット／反力レバー／電池パック／充電器／その他部品／ケース／コード線／差し込み(電源)プラグなどに、変形・亀裂・破損などの異常がないか、点検してください。
 - ソケットおよび反力レバーがレンチ本体に正常にセットされているか確認してください。
異常がある場合は、使用しないでください。
感電・火災・やけど・けがの原因になります。
-

●ガソリン・ガス・シンナー・ベンジンなど引火性危険物がある場所では、使用および充電しないでください。

- スイッチ操作の開閉時や電池パックの充電器への差込の際、また本体と電池パックの取り付け、取り外しの際に火花を発生しますので、引火性危険物がある所では使用しないでください。
爆発・火災の原因になります。

警告

●反力レバーのレバー(反力受け)は、安定した箇所に正しくあててください。

○万一、傷つきやすい箇所しかない場合は緩衝板(鉄板など)で保護し安定させてから作業してください。また、緩衝板は滑って飛ばないように、確実に固定してください。

けがの原因になります。

●不意な始動は避けてください。

○スイッチに指を掛けて持ち運ばないでください。

誤って起動する恐れがあり、けがの原因になります。

●無理に使用しないでください。

○レンチや充電器および付属品は、その能力範囲内で使用してください。

無理な使用はレンチや充電器および付属品の損傷をまねくばかりだけでなく、けがの原因になります。

●使用中はレンチ本体を両手で確実に保持してください。

○レンチは、締付が完了すると自動的に停止します。自動停止直前に反力が大きくなりますので、両手で確実に保持してください。

けがの原因になります。

●ソケットおよび反力レバーは、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

取り付けが不完全であると、けがの原因になります。ソケットおよび反力レバーの取り付け・取り外しについては、P. 14, 15をご覧ください。

警告

●ソケットおよび反力レバーの取り付け・取り外しの際は、電池パックを取り外してください。

- 不意に起動した場合など、反力レバーが回転し、手や指、足などが挟まれ大変危険です。
けがの原因になります。

●運転中に異常音・振動・異臭などを感じた場合は、ただちに使用を中止してください。

- お買い求めの販売店、あるいは弊社営業所までご連絡ください。
感電・火災・けがの原因になります。

●専用の充電器・電池パックを使用してください。

- 他の充電器で電池パックを充電しないでください。
- この取扱説明書に記載している電池パック以外は充電およびレンチへの使用はしないでください。
電池パックが破裂して傷害や損傷を及ぼす原因になります。

●正しく充電してください。

- 直流電源やエンジン発電機および変圧器類で昇圧している電源では使用しないでください。
- 温度が0℃未満あるいは40℃以上になるところでは電池パックを充電しないでください。
- 電池パックは換気の良いところで充電してください。
- 充電中、電池パックや充電器を布などで覆わないでください。
- 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
異常に発熱し感電・破裂・火災の原因になります。

警告

● 充電器は銘板表示の電源電圧で使用してください。

火災・やけど・破損・けがの原因になります。

● 電池パックの端子間を短絡させないでください。

○ 釘袋等に入れるなど、端子に金属類・水などの異物を近づけないでください。

短絡して発煙、発火、破裂等の恐れがあります。
電池パックを保管する場合は、短絡を防ぐため付属のパックカバーを取り付けて保管してください。

● 電池パックを火中に投入しないでください。

破裂および有害物質の出る恐れがあります。

● 次の場合は、電池パックをレンチから外してください。

- 使用しない場合
 - 付属品を交換する場合
 - 点検・整備を行う場合
 - その他、危険が予想される場合
不意に起動し、けがの原因になります。
-

● 充電器の端子間を短絡させないでください。

○ 端子に金属類・水などの異物を近づけないでください。

短絡して発煙・発火・破裂等の恐れがあります。

● 充電中に充電器の通風口をふさいだり、異物を差し込んだりしないでください。

火災・やけど・破損・けがの原因になります。

警 告

● 充電器のコード線は、定期的に点検してください。

○ 万一、損傷している場合は、お買い求めの販売店
または弊社営業所に修理を依頼してください。
感電・火災・漏電の原因になります。

● 充電中に異常音・振動・異臭などを感じた場合は、ただちに使用を中止し、差し込み(電源)プラグを電源から抜いてください。

○ お買い求めの販売店、あるいは弊社営業所まで
ご連絡ください。
発火・破裂・けがの原因になります。

● 使用しない場合は、ケースに収納し、所定の場所に保管してください。

○ 乾燥した場所で、子供の手の届かない所、あるいは鍵のかかる所に鍵を掛けて保管してください。
故障・誤操作・事故の原因になります。

● 分解・改造をしないでください。

感電・火災・故障・けがの原因になります。

● 修理のご用命は、お買い求めの販売店、あるいは弊社営業所までご連絡ください。

レンチおよび充電器の修理知識および技術力のない方が修理されますと所定の性能を発揮できないだけでなく、事故・けがの原因になります。

注意

■作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は事故原因になります。

■子供を近づけないでください。

作業者以外には、レンチやコード線に触れさせないでください。

作業者以外を、作業場に近づけないでください。

■作業する場所の安全を確認してください。

常に足場をかため、身体の安定を保って作業してください。

充電器のコード線を物に巻き付けしないでください。

充電器のコード線で足を引っかけないよう、注意し作業してください。

作業場は明るくしてください。

■作業に適した機種選定をしてください。

能力範囲外で使用しないでください。

用途以外に使用しないでください。

■作業に適した服装で作業をしてください。

屋外での作業の場合は、ゴム手袋と滑り止めのついた履物をご使用ください。

作業現場に入る時は、ヘルメット・帽子などを正しく着用してください。

■充電器のコード線は乱暴に扱わないでください。

コード線を持って充電器を運ばないでください。

コード線を引っ張ってコンセントから抜かないでください。

コード線を、加熱される所・油等が付く所・傷が付く所には、近づけないでください。

注 意

■ソケットの開口部には、石、砂および埃などの異物の混入がないようにしてください。

破損・故障の原因になります。

■モーターの通風を良くしてください。

□モーターの通風口に異物などを差し込まないでください。

□モーターの通風口を物で覆わないでください。

■念入りに手入れをしてください。

□使用の際は、握り部および握り手を常に乾いた状態に保ち、油・グリス等が付かないようにしてください。

■差し込み(電源)プラグのタコ足配線をしないでください。

火災の原因になります。

事故・故障の原因になります。

■電池パックを温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(夏の車中など)に保管しないでください。

電池パックの劣化の原因となるだけでなく、発煙・発火の恐れがあります。

■騒音に関する法・条例を守ってください。

各都道府県の条例で定める工場・事業所で使用する場合は、周辺に迷惑をかけないよう、各条例で定める騒音規制値以下でご使用ください。必要に応じて、遮音壁を設けてください。

■付属品やアタッチメントは、当社規格品をご使用ください。

本取扱説明書・弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

事故・故障の原因になります。

3. 充電方法

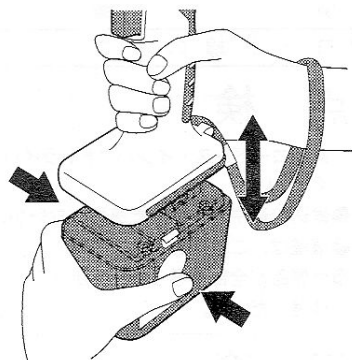
■お買い上げ時の電池パックは、充電されていない状態です。
ご使用前に正しく充電してください。

- 周囲温度0℃以上40℃未満の範囲内で充電してください。
- エンジン発電機を使用しての充電はしないでください。
- 充電後は充電器の電源プラグを電源(コンセント)から抜いてください。
- 電池パックを3パック以上連続充電する場合は、充電器を一度冷ましてください。
- 電池パック挿入口に異物が入らないようにしてください。

1. 『電池パックの取り付け・取り外し』方法

- ①取り外す場合は、レンチ本体をしっかりと持ち、電池パックの押しボタンを押しながら引き抜きます。
- ②取り付ける場合は、電池パックをレンチ本体に奥まで、しっかりと差し込みます。

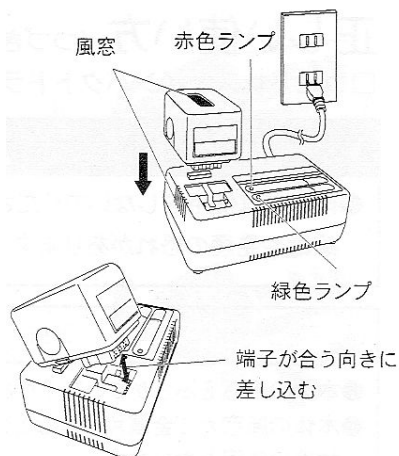
* 引っ張って抜けないことを確認してください。



2. 充電方法

- ①充電器の電源プラグを電源(コンセント)に差し込みます。
- ②電池パックを正しい方向に向けて、充電器に差し込みます。
- ③自動で充電を開始します。

- 電池パックと充電器の端子を、一致する方向に向けて差し込んでください。差し込み方向を誤ると充電器の端子が変形して、破損の原因となります。



4. ソケットおよび反カレバーの取り付け・取り外し方法

⚠警告 ⚠注意

- ソケットおよび反カレバーの取り付け・取り外しの際は、電池パックを取り外してください。
- 安全のためソケットおよび反カレバーがしっかりと取り付けられているか、確認してください。

取り付けが不十分であると、ソケットおよび反カレバーが落下することがあり危険です。

ソケット取り付けにおいて、ソケットピン穴とレンチ出力角の突起(ボール)の位置をあわせ必要があります。位置がずれていると「ロック機構」が作用せずソケットは簡単に抜けてしまい、高所作業では非常に危険です。

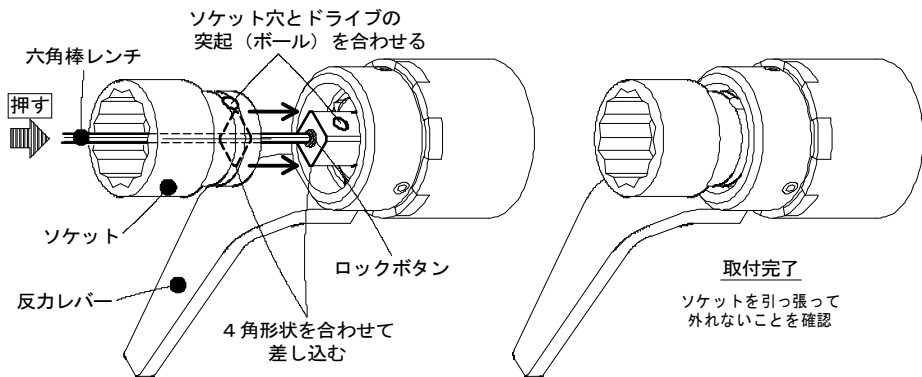
- 出力角先端のロック解除ボタンを(覗く穴から)押しながら取り付け・取り外す構造となっています。押しながらいと取り付け・取り外しはできません。強引に押し込んだり、引っ張ったりすると故障の原因となります。

1. 『ソケットの取り付け・取り外し』方法

■ソケットの落下防止を目的として「ロック機構」を採用しています。

- 反カレバーを取り付けた状態で行ってください。
- ソケットは差込角12.7mmのソケットをご使用ください。
- ソケットのピン・Oリングは必要ありません。

- ①ソケットの4角穴をレンチの先端に突き出た4角ドライブ(軸)の形状に、ソケットピン穴とレンチ出力角の突起(ボール)の位置を合わせて差し込みます。
…上手く差し込みができないときには左右にソケットを揺動させながら差し込んでください。
- ②ソケットの4角穴から通して見えるレンチの4角ドライブ先端にあるロックボタンを、付属の六角棒L形レンチまたは棒状のもので押し込みながらソケットをさらに奥まで差し込みます。
- ③取り付けが完了しました。
…安全のためソケットがしっかりと取り付けられているか、引っ張って外れないことを確認してください。
取り外しは②と同様にロックボタンを押し込みながら、ソケットを引き抜くことで行います。



2. 『反力レバーの取り付け・取り外し』方法

■付属の形状寸法以外に、ご要望に応じた反力レバーを製作します(有償)。

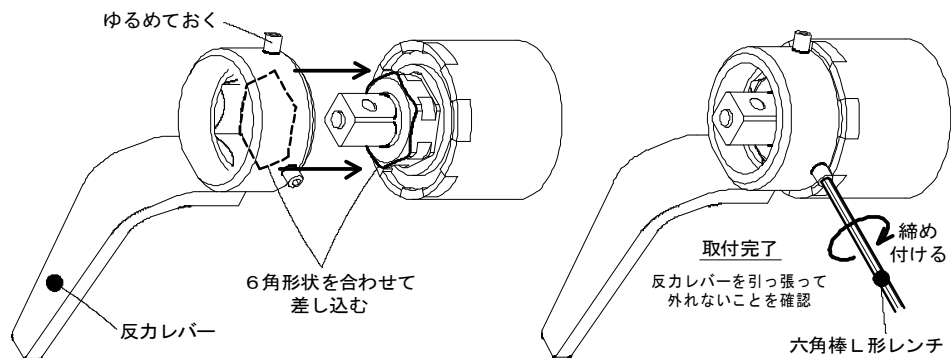
お買い求めの販売店、あるいは弊社営業所までご相談ください。

○ソケットを外した状態で行ってください。

①反力レバーの外周にある2箇所のネジを付属の六角棒L形レンチ(二面幅2.5mm)にてゆるめ、反力レバーの6角穴をレンチの6角ドライブ(軸)の形状に合わせて差し込みます。

…上手く差し込みができないときは左右に反力レバーを揺動させながら差し込んでください。

②反力レバーの外周にある2箇所のネジを付属の六角棒L形レンチにて締め付けます。



③取り付けが完了しました。

…安全のため反力レバーがしっかりと取り付けられているか、引っ張って外れないことを確認してください。

取り外しは2箇所のネジを付属の六角棒L形レンチにてゆるめ、反力レバーを引き抜くことで行います。

5. 操作方法

1. 『締め』操作方法

- ①正逆切替ボタンを押して、締め作業に応じた方向(正転・逆転)を選択します。

* 作業前には、レンチの回転方向を目視確認してください。

- ②トルク設定ダイヤルを付属のドライバーにて目標トルクに合わせます。

* トルク設定ダイヤルは弊社試験機にて調整しています。精度の高いトルク管理が必要な時は、締付トルクの微調整を行ってください(P. 18, 19参照)。

- ③インターナルギヤを手で廻しながら、ソケットをボルト・ナットに完全に差し込んでください。

* 反力レバーはレンチ起動時にボルト・ナットの回転方向に対し、逆の方向に回転しますので隣接のボルトまたは部材で反力が受けられるよう配慮し作業してください。

- ④スイッチを引いて起動してください。反力レバーが隣接するボルトまたは部材にあたり、ソケットが回転しボルト・ナットを締め付け始めます。

…このとき綠色ランプが点滅すれば正常な締付が行われています(P. 20参照)。

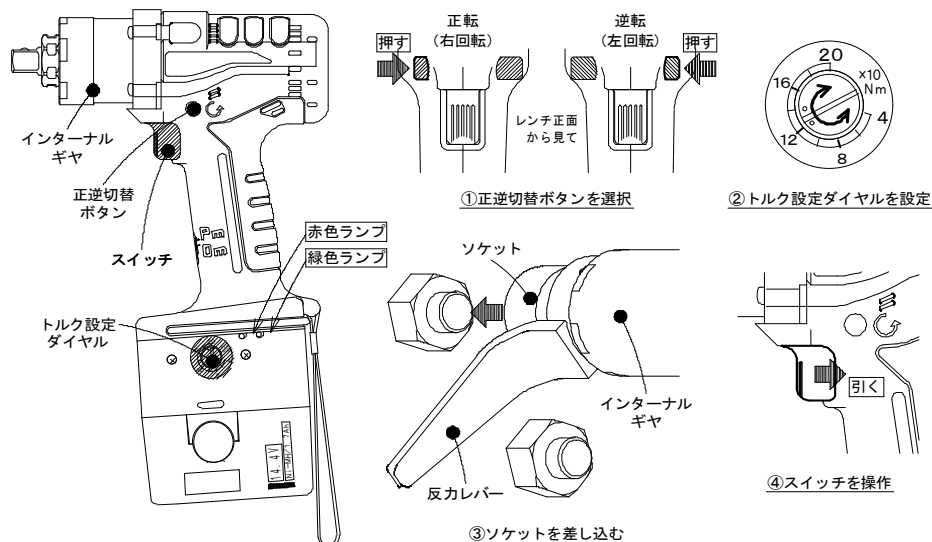
* 反力レバーによる指詰めにご注意ください。

- ⑤締付が進み、設定されたトルクに達すると、レンチは制御回路が働いて自動停止し、締付が完了します。

…正常に締付が完了すれば綠色ランプが点灯します(スイッチを戻すと消灯します)。

締付途中でスイッチを離すと正常な締付は行われず、設定トルクに達しません。

* ④⑤において赤色ランプが点灯・点滅すれば、異常を示します(P. 20参照)。



2. 『ゆるめ』操作方法

- ① 正逆切替ボタンを押してゆるめ作業に応じた方向(正転・逆転)を選択します。

* 作業前には、レンチの回転方向を目視確認してください。

- ② トルク設定ダイヤルを付属のドライバーにて最大に合わせます。

- ③ インターナルギヤを手で廻しながら、ソケットをボルト・ナットに完全に差し込んでください。

* 反力レバーはレンチ起動時にボルト・ナットの回転方向に対し、逆の方向に回転しますので隣接のボルトまたは部材で反力が受けられるよう配慮し作業してください。

- ④ スイッチを引いて起動してください。反力レバーが隣接するボルトまたは部材にあたり、ソケットが回転しボルト・ナットをゆるめ始めます。スイッチから手を放せばレンチは停止し、ゆるめが完了します。

…ゆるまない場合は、レンチの許容能力を超えていますので、作業を中止してください。故障の原因となります。

* 反力レバーによる指詰めにご注意ください。

⚠警告⚠注意

- 反力レバーによる指詰めにご注意ください。

- 本体の通風口をふさいだり、通風口から金属片や水などの異物を入れたりしないでください。

感電・故障の原因となります。

- モーターが止まるような無理な使い方はしないでください。

故障の原因となります。

- 電池パックが2パックを超える連続作業は、本体を一度休ませてください。

本体を一度冷やしてからご使用ください。 本体が熱くなり、やけどをする恐れがあります。

本体が熱くなると保護回路が働き、力が弱くなる場合があります。

- 1度締め付けたボルト・ナットの2度締め(増し締め)はしないでください。

ボルト・ナットの破損およびレンチ故障、けがの原因になります。

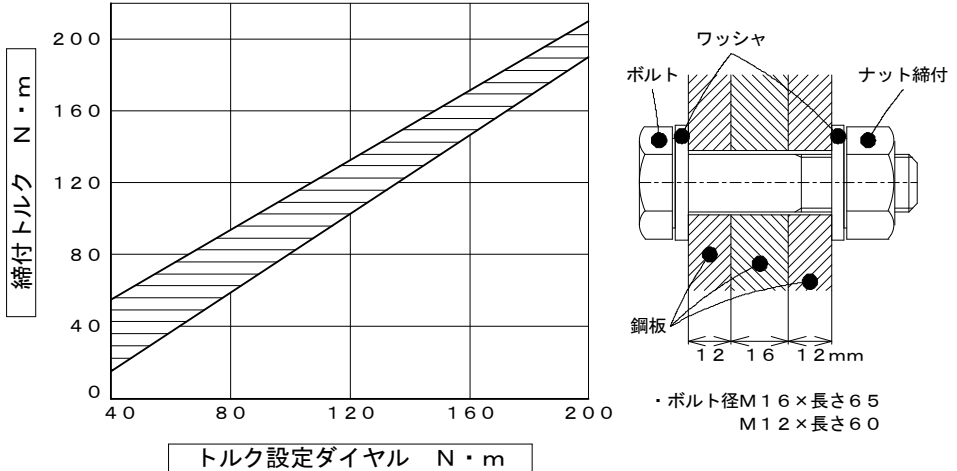
- 電池パックの充電容量(残量)が不足しますと赤色ランプが点滅し、レンチは起動後すぐに停止し、正常起動しません(P. 20参照)。

電池パックを充電するか、もしくは充電された電池パックに交換してください。

6. 締付トルクについて

1. 締付トルクとトルク設定ダイヤルの関係

締付トルクは次の締付条件において斜線の範囲内に入ります。



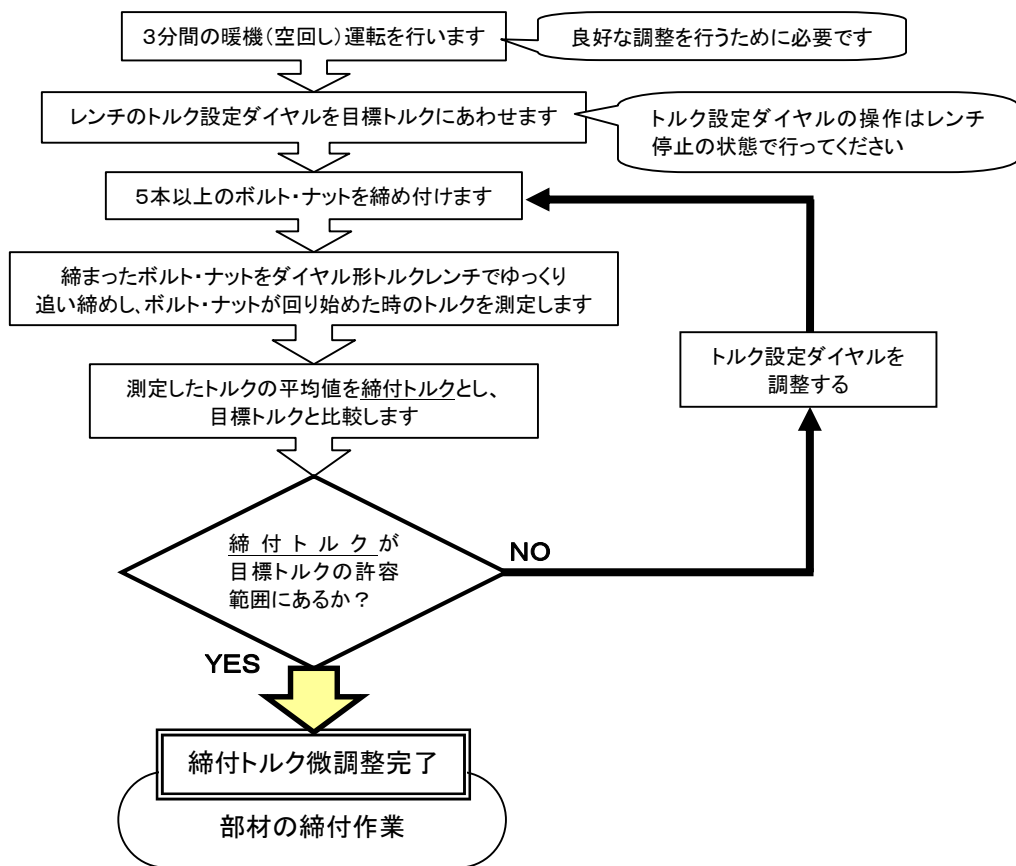
2. 締付トルクの変動要因

締付トルクはボルトおよび締付部材の状況により変動します。
その傾向は次のとおりです。

締付状況	傾向
<ul style="list-style-type: none"> ・締付部材の剛性が低い(軟らかい) ・ボルト径が小さい ・ボルト長さが長い ・ボルトの材質強度が低い ・ボルトの品質が悪い ・共回りを生じる 	<p>締付トルクは 低くなる</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・締付部材の剛性が高い(硬い) ・ボルト径が大きい ・ボルト長さが短い ・ボルトへの水、油などの付着がある ・2度締め(増し締め)をする 	<p>締付トルクは 高くなる</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・部材間の隙間が多い 	<p>締付精度が悪くなる</p>

3. 締付トルクの微調整

精度の高いトルク管理が必要な時は、作業前にダイヤル形トルクレンチを使用して締付トルクの微調整を行ってください。



⚠警告⚠注意







- 締付トルクの微調整を必要とする場合は、毎日の作業開始時と締付条件が変化した時に行ってください。
- 安定した良好な締付を行うためには、本体の定期的なメンテナンスと消耗した電池パックの交換をお勧めします。
- 1度締め付けたボルト・ナットの2度締め(増し締め)はしないでください。過大な締付トルクになるとともに、レンチ故障の原因となります。

7. ランプ表示による締付判定および異常検出について



- 本機には締付が正常に行えたかの判定および異常検出を、赤色と緑色のランプで表示する機能を備えています。
 スイッチを離すとランプは消灯します。
 スイッチを引き込んだ状態で確認してください。

● : 消灯  : 速い点滅(5回/秒)  : 点滅(2回/秒)  : 遅い点滅(1回/秒)











締付判定

表示	意味	対処
  ↓ 締付開始	無負荷運転中	正常です
  ↓ 締付完了	締付中	
 	正常に締付完了しました	

電池パック残量不足

表示	意味	対処
 	充電容量が不足しています …レンチは起動後 すぐに停止します	電池パックを充電するか、 もしくは充電された電池パックに 交換してください

異常検出

表示	意味	対処
 	正常な締付が できませんでした	反力レバーを隣接するボルト または部材から十分に離して 再度締め付けてください
  -----   -----   ↑ 交互  	レンチ本体に故障が 発生しています	シャーランナーの修理が 必要です 作業を中止し、販売店に ご相談ください

8. 保守点検



- 保守点検するときはスイッチを切り電池パックを取り外してください。
不意に起動し、感電・けがの原因になります。
- ソケットが摩耗している場合は、使用しないでください。
 - ソケットの内側部分が摩耗しますと、
ボルト・ナットがナメリ易くなり大変危険です。
けがおよびレンチ・ソケット・反カレバーなどの故障
の原因になります。

- ①ソケットおよびソケットとレンチの取付部周辺は、異物(ほこり等)が混入し易い箇所ですので、時々ブラシなどで清掃してください。
- ②汚れを拭き取る場合は、ベンジン・シンナー・ガソリン等の有機溶剤で拭かないでください。ひび割れや変色の原因になります。
- ③作業終了後は、ケースに入れて乾燥した場所に保管してください。
- ④6ヶ月または3万本使用毎に、オーバーホールを受けてください。
尚、オーバーホールにつきましては、お買い求めの販売店または弊社営業所までお申し付けください。

9. 仕 様

■本体

製 品 番 号	SR-B20A
常用最大トルク	200N・m
トルク制御範囲	40～200N・m
繰返締付精度	±5% 同一条件下にて締め付けた1群の平均値(トルク)に対するバラツキをパーセント(%)で表したもの
無負荷回転数	12min ⁻¹ (rpm)
外形寸法	外径51mm 全長185×高さ288×幅73mm
質 量	2.7kg (電池パック・反カレバー含み、ソケット除く)
モ ー タ	ブラシレスDCモータ
電源(電池パック)	14.4V(DC)ニッケル水素電池 BAP-14AMH(B):1.7Ah
適応ボルトサイズ	M18, 16, 14, 12, 10
1満充電あたりの 締付本数の目安 (電池パック1.7Ah)	200N・mのとき約130本 120N・mのとき約280本 40N・mのとき約600本
付 属 品	○ソケット:19mm ○反カレバー(反力受け) ○六角棒L形レンチ ○スタビードライバー ○電池パック(1.7Ah)×2個 ○パックカバー×2個 ○充電器 ○取扱説明書 ○キャリングケース

■充電器

製 品 番 号	BAQ-7914A1
入 力 電 源	AC100V, 50/60Hz
入 力 容 量	245VA
外 径 寸 法	長さ210×幅135×高さ83mm
質 量	1.1kg
コード線長さ	1.8m

10. 特 長

- ・打撃音がなく、静寂性が高い。
- ・トルク制御器を本体に内蔵。
- ・正回転・逆回転の切替が可能であり、
どちらの回転においてもトルク制御が行なえる。
- ・ソケットの不意な落下を防止する「ロック機構」付き。
- ・高効率、高耐久の「ブラシレスDCモータ」採用。

11. アフターサービスについて

- 取扱説明書・レンチ本体・付属品等に記載されている **警告ラベル** などの注意書に従って正しくご使用ください。
- アフターサービスについての詳細につきましては、お買い求めの販売店、または弊社営業所へお問い合わせください。
尚、お問い合わせの際には、型式・製品番号・製造番号・購入年月日・電圧・使用状況などを詳しくご報告ください。

注 意

- 精度不良、および故障等によって重大な損害が生じると予想される場合は、事前に予備機などの代替手段を講じてください。

製造・販売元

前田金属工業株式会社

本社・大阪営業所

〒537-0001 大阪市東成区深江北3丁目14番3号

TEL:(06)6976-6241 FAX:(06)6973-1058

東京営業所

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿2丁目27番24号

TEL:(03)3446-3231 FAX:(03)3446-3920

- 予告なしに改良・仕様変更をする場合があります。変更の場合、取扱説明書の内容が変わりますのでご注意ください。尚、取扱説明書はレンチ毎にケース内に保管してください。

検査合格



0409